

小見川地区黒部川の 繁茂した雑草の早期除去を

Q 小見川地区のシンボルである黒部川はここ数カ月、雑草が繁茂し、景観を損ねている。早期の除去が必要だが、市当局の対応は。



雑草が繁茂している黒部川

A 黒部川に繁茂している水草は、拡散力が強いことから、完全な除去は非常に困難となる植物であります。このため、河川を管理する県においては、毎年除去作業を行っている状況です。市としても、繁茂の状況等について、県との情報共有を図り、状況回復を目指していきたいと考えております。

五郷内第一市営住宅の早期解体を

Q 小見川五郷内第一市営住宅は近年、老朽化が著しく、廃墟となっている。ま



たかぎひろし 議員

た、防犯、防火の面からも大変危険である。早期の解体が必要だが、市当局の対応は。

A 建物については、老朽化が進んでおり、除草や樹木剪定を計画的に実施しているところですが、今後の対応については、跡地の有効活用を検討するとともに、建物の解体に向けて財源の確保や解体設計の実施を検討してまいります。

橘ふれあい公園パークゴルフ場 半日券の導入を

Q 同ゴルフ場は、ここ数カ月、猛暑のせいか利用者が極端に少なかった。オープンから現在までの利用者数と、その市内内外の内訳は。

A 令和4年10月1日のオープンから令和5年7月末までの10カ月間の利用者数の総数は9589人です。そのうち、市内利用者は6414人で全体の66.9%、市外からの利用者は3175人で全体の33.1%です。

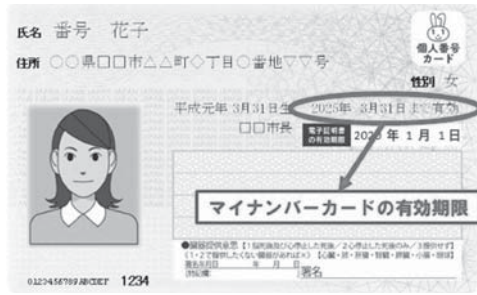


たしろかずお 田代一男 議員

マイナンバーカードの 活用の促進を

Q 私たち市民一人ひとりがマイナンバーカードを持つ意義はなにか。

A マイナンバーカードは、安全、確実な本人確認ができるデジタル社会の基盤となるツールであり、社会全体のデジタル化、また、自治体DXを推進するための最も重要なインフラであると考えています。市としても、マイナンバーカードのさらなる普及に向けて取得支援を推進してまいります。



個人番号カード(見本)

Q 当初の目標との対比は。また、利用者の更なる増加を図るための半日券の発行は。

A 利用者数9589人と、年間の目標集客数約2万人の10カ月換算人数約1万6600人を比較すると、目標達成率は約58%にとどまっている状況であり、利用料金の割引などの会員特典を付与するプレミアム会員制度の導入などについて検討しております。

野良猫、不要猫への対応は

Q 市当局の野良猫、不要猫への対応は。また、これらを動物保護団体への斡旋は。

A 県動物愛護センターにおいて猫の保護引取りのほか、啓発活動、指導、助言を行っており、不要猫の引取りのために動物愛護団体を斡旋することはないとのことです。

Q 避妊手術への助成は。今後、猫を捨てさせないための対応は。

A 不妊・去勢手術の費用を負担した飼い主に対し、同一年度で1世帯につき1頭まで5000円を上限に助成しています。また、市ホームページや広報紙において、動物を飼うための心構えや飼い主の責任について啓発を行っています。

男性へのHPVワクチンに 公費助成を

Q HPVが関係する男性の疾病はなにか。
A 尖圭コンジローマや肛門がんなどが、HPVに感染した場合に発症する可能性のある疾病と考えられています。

Q 男性へのHPVワクチン接種費用はどの程度かかるのか。

A 医療機関によっても異なりますが、HPVワクチンの必要接種回数とされる3回接種で、おおむね5万円から6万円程度の費用がかかることとなります。

Q 男性へのHPVワクチン接種費用の助成はできないか。

A ワクチン接種の助成については、まず、ワクチンを接種することにより、自分のみならずパートナーへの感染予防が期待できることなどを広く市民に周知を図ることから始めたいと思います。

「書かない窓口」の早期導入を

Q 全国に先駆けて「書かない窓口」を導入した北海道北見市の取り組みをどう評価するのか。

A 北海道北見市の取り組みについては、行政窓口改革の成功事例として全国的に高い評価を得ており、市民サービスの向上に寄与するものと認識しております。市としても、今後、「書かない窓口」の導入について検討する際の参考にしたいと考えております。

Q 来庁者だけでなく市側にも大きなメリットがある「書かない窓口」を香取市にも早期に導入していただきたいが、見解は。

A 「書かない窓口」の導入に当たっては、住民情報系システムと連携を取る必要がありますので、現在進めている国が定めた標準化システムへの移行作業と併せ、令和7年度までの導入を目指し検討してまいります。